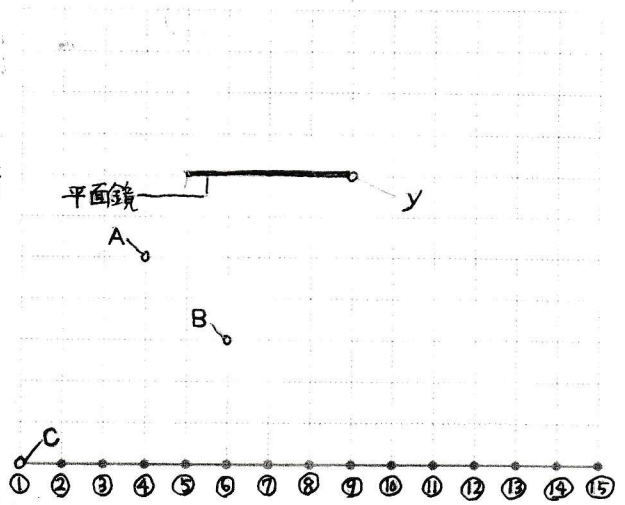


2. 鏡に映る像について調べた。

図3, 図4は実験に参加した生徒と平面鏡の位置を真上から見たようすを模式的に表したものである。点A, B, Cは、それぞれ生徒A, B, Cの立っている位置を表しており、マス目は正方形で、大線には点①～点⑮がかかかれている。また、平面鏡の幅は4マス分の辺の長さに等しいものとする。

<実験2> 図3のように、A, B, Cが立ち、平面鏡に映る像の見え方を調べた。 図3

(1) 図3において、Bが光源からの光を平面鏡の右端の点yに水平に当てたとき、平面鏡で反射した光はどの点とどの点の間を通るか、作図により求め、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。



- ア. 点③と点④の間
- イ. 点⑭と点⑮の間
- ウ. 点⑧と点⑨の間
- エ. 点⑫と点⑬の間

(イ)

反射の法則より、
入射角 = 反射角となるように光は進む。

こうなる →

